

# 令和2年度 事業報告

社会福祉法人景福会

令和3年5月19日作成



# 景福会 法人概要

1. 法人名 社会福祉法人景福会
2. 所在地 久留米市青峰3-12-1
3. 設立日 昭和51年11月8日

## 4. 基本理念及び定款に定める目的

<b>基本理念</b> 和顔愛語 穏やかな笑顔と思いやりのある話し方で人に接します。
<b>目的</b> 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的とする。

## 5. 沿革

昭和52年 5月 1日 特養唐孔雀園開設(50床)
昭和56年 5月16日 特養唐孔雀園増床50床、定員100床
平成 4年 5月31日 認知性老人専用居室設置(ひだまりの棟)
平成12年10月 1日 唐孔雀園デイサービスセンター開設
平成18年10月 1日 桜花台園(地域密着型特養20床・小規模)開設、唐孔雀園80床に減床
平成18年11月 1日 桜花台園(短期入所生活介護10床)開設
平成23年10月 1日 唐孔雀園短期入所生活介護事業開始(7床)

## 6. 事業所

施設名	唐孔雀園	施設名	桜花台園
設立	昭和52年5月1日	設立	平成18年10月1日
所在地	久留米市青峰3-12-1	所在地	久留米市高良内町3919-7
責任者	山崎 美寧子	責任者	山崎 美寧子
事業内容	介護老人福祉施設 80床 短期入所生活介護 7床 地域密着型通所介護 定員15名、元気デイ定員5名 居宅介護支援(休止中2019.10~) 配食サービス(2019.7~療養食限定)	事業内容	地域密着型介護老人福祉施設 20床 短期入所生活介護 10床 小規模多機能型居宅介護 登録25名 (通い15名、宿泊7名)

## 7. 理事・監事

氏名	役職	就任年月
山崎 剛	理事長	H8.4.28
山崎 美寧子	理事	H2.1.1
石橋 力	"	H10.12.28
秋永 俊二	"	H28.11.8
寺崎 正一	"	H29.6.18
板谷 克之	"	H30.1.13
田中 俊博	監事	R2.12.12
藤島 玄稔	"	H29.6.18

## 8. 事業所別職員数(管理者除、派遣含)

R3.4.1現在

職種/勤務形態	唐孔雀園		桜花台園		合計	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
介護職員	(8) 19	4 (10)	21	11 (18)	40	15
看護職員	3	6	1	2	4	8
リハビリ	1	1	0		1	1
ケアマネ・相談員	5		3		8	0
栄養課職員	1		1		2	0
事務職	4		2	1	6	1
運転手・営繕その他	2	2	1	3	3	5
合計	35	13	29	17	64	30

介護職員( )内は介護(社会)福祉士。育休等、長期休暇者は除く

## 9. 財務状況

(百万円)

	31/3	2/3	3/3
サービス活動収益	539	528	493
サービス活動増減差額	▲ 12	▲ 28	▲ 49
経常増減差額	▲ 13	▲ 28	▲ 49
当期活動増減差額	▲ 13	▲ 28	▲ 50
減価償却費	27	27	29
補助金等積立金取崩	▲ 7	▲ 7	▲ 7
次期繰越収支	267	239	189
総資産	725	679	604
自己資本	633	600	544
借入金	32	17	4

## 10. 施設・事業別収益状況

(百万円)

	31/3	2/3(A)	3/3(B)	(B)-(A)
唐孔雀園				
特養	310	302	277	▲ 25
デイ	18	24	25	▲ 1
ショート	11	8	0	▲ 8
ケアプラン	2	1	0	▲ 1
給食	6	3	1	▲ 2
合計	347	338	304	▲ 34
桜花台園				
特養	97	98	99	2
ショート	41	43	41	▲ 1
小規模	52	50	48	▲ 2
合計	190	190	189	▲ 1

施設・事業別利用者推移

唐孔雀園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2020	2,145人	2,194人	2,071人	2,080人	1,990人	1,923人	2,037人	1,950人	2,012人	2,046人	1,858人	2,010人	24,316人
	2019	2,179人	2,270人	2,246人	2,358人	2,441人	2,251人	2,319人	2,137人	2,240人	2,280人	2,177人	2,311人	27,209人
	2018	2,354人	2,415人	2,307人	2,375人	2,390人	2,285人	2,431人	2,321人	2,310人	2,338人	2,048人	2,325人	27,899人
延数	2020-2019	-34人	-76人	-175人	-278人	-451人	-328人	-282人	-187人	-228人	-234人	-319人	-301人	-2,893人
	2019-2018	-175人	-145人	-61人	-17人	51人	-34人	-112人	-184人	-70人	-58人	129人	-14人	-690人
デイ	2020	252人	259人	297人	312人	304人	300人	307人	302人	344人	290人	304人	162人	3,433人
	2019	256人	238人	220人	255人	246人	271人	293人	307人	301人	286人	281人	280人	3,234人
	2018	253人	281人	279人	272人	266人	267人	271人	256人	246人	179人	185人	248人	3,003人
延数	2020-2019	-4人	21人	77人	57人	58人	29人	14人	-5人	43人	4人	23人	-118人	199人
	2019-2018	3人	-43人	-59人	-17人	-20人	4人	22人	51人	55人	107人	96人	32人	231人
ショート	2020	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	2019	147人	69人	78人	104人	84人	89人	97人	78人	20人	0人	0人	2人	768人
	2018	114人	76人	56人	96人	147人	78人	75人	106人	131人	122人	106人	122人	1,229人
延数	2020-2019	-147人	-69人	-78人	-104人	-84人	-89人	-97人	-78人	-20人	0人	0人	-2人	-768人
	2019-2018	33人	-7人	22人	8人	-63人	11人	22人	-28人	-111人	-122人	-106人	-120人	-461人
居室	2020	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	2019	16件	15件	16件	15件	13件	13件	6件	0件	0件	0件	0件	0件	94件
	2018	17件	17件	18件	18件	17件	19件	18件	18件	17件	16件	17件	17件	209件
請求数	2020-2019	-16件	-15件	-16人	-15人	-13人	-13人	-6人	0人	0人	0人	0人	0人	-94件
	2019-2018	-1件	-2件	-2件	-3件	-4件	-6件	-12件	-18件	-17件	-16件	-17件	-17件	-115件
給食	2020	178食	162食	199食	198食	169食	165食	193食	159食	190食	170食	155食	180食	2,118食
	2019	1,097食	1,055食	1,063食	204食	227食	215食	263食	257食	244食	221食	188食	178食	5,212食
	2018	1,225食	1,262食	1,447食	1,329食	1,293食	1,131食	1,306食	1,196食	1,077食	1,058食	1,013食	1,066食	14,403食
延食数	2020-2019	-919食	-893食	-864食	-6食	-58食	-50食	-70食	-98食	-54食	-51食	-33食	2食	-3,094食
	2019-2018	-128食	-207食	-384食	-1,125食	-1,066食	-916食	-1,043食	-939食	-833食	-837食	-825食	-888食	-9,191食

桜花台園

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
特養	2020	598人	619人	573人	600人	620人	580人	568人	570人	594人	617人	556人	595人	7,090人
	2019	596人	620人	595人	613人	570人	576人	589人	596人	613人	608人	549人	589人	7,114人
	2018	570人	604人	590人	611人	551人	543人	559人	558人	598人	620人	526人	604人	6,934人
延数	2020-2019	2人	-1人	-22人	-13人	50人	4人	-21人	-26人	-19人	9人	7人	6人	-24人
	2019-2018	26人	16人	5人	2人	19人	33人	30人	38人	15人	-12人	23人	-15人	180人
ショート	2020	265人	253人	272人	259人	275人	231人	279人	268人	258人	282人	280人	257人	3,159人
	2019	272人	287人	267人	298人	277人	282人	275人	281人	287人	258人	258人	241人	3,283人
	2018	274人	281人	272人	250人	281人	254人	305人	304人	298人	287人	252人	291人	3,349人
延数	2020-2019	-7人	-34人	5人	-39人	-2人	-51人	4人	-13人	-29人	24人	2人	16人	-124人
	2019-2018	-2人	6人	-5人	48人	-4人	28人	-30人	-23人	-11人	-29人	6人	-50人	-66人
小規模	2020	21人	20人	20人	20人	19人	18人	18人	19人	19人	18人	19人	21人	232人
	2019	23人	21人	23人	21人	21人	22人	21人	21人	20人	20人	22人	21人	256人
	2018	19人	20人	20人	17人	18人	19人	20人	19人	19人	19人	20人	20人	230人
登録数	2020-2019	-2人	-1人	-3人	-1人	-2人	-4人	-3人	-2人	-1人	-2人	-3人	0人	-24人
	2019-2018	4人	1人	3人	4人	3人	3人	1人	2人	1人	1人	2人	1人	26人

特養の利用者諸表(唐孔雀園+桜花台園)

入所年齢別・性別

(単位：名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	2	5	2	1	2	0	0	0	12	74.9歳
女	2	4	3	16	18	21	4	4	72	86.9歳
計	4	9	5	17	20	21	4	4	84	85.1歳

男性 最高 87歳 最低 59歳

女性 最高 102歳 最低 61歳

在所期間

(単位：名)

性別\期間	1年未満	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男	2	3	3	1	1	0	0	0	2	12
女	8	19	8	8	3	2	3	4	17	72
計	10	22	11	9	4	2	3	4	19	84

ADL調査表

(単位：名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	42	9	5	10
介助で出来る	11	29	32	7
全然出来ない	21	46	47	67
経管栄養	5			
胃ろう	5			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	名	率(%)	問題行動	名	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	7	8.3%	独語	9	10.7%
大声・暴言	14	16.7%			
暴力・介護抵抗	8	9.5%			
収集癖	7	8.3%			
異食	4	4.8%			
不潔行為	5	6.0%			

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	4	4	3	12	3.7
女	1	5	20	27	24	77	3.9
計	2	5	24	31	27	89	3.9

## 事業実績表(法人本部・事務部門)

### 理事会・評議員会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
4月22日	理事会	決議省略 書面	理事 6名 監事 2名	福岡県介護福祉士修学資金等貸付を利用する外国人留学生の連帯保証人になること
5月15日	監事監査	唐孔雀園 会議室	2名	令和元年度事業報告・財産目録・ 貸借対照表・収支計算表等の監査
5月26日	理事会	決議省略 書面	理事 6名 監事 2名	令和元年度事業・決算報告・監査報告の承認 令和2年度補正予算承認、給与・賞与規程の一部改訂 定時評議員の招集(決議省略)
6月3日	評議員会	決議省略 書面	評議員 7 名	令和元年度事業・決算報告・監査報告の承認 令和2年度補正予算の承認
11月21日	理事会	久留米市 マリターレ創世	理事 5名 監事 1名	次期監事候補の評議員会への推薦 評議員選任・解任委員、苦情解決第3者委員の選任 臨時評議員会の招集 2020年度上半期実績報告
12月12日	評議員会	久留米市 マリターレ創世	評議員 5名 理事 2名	次期監事候補の評議員会への推薦 2020年度上半期実績報告
3月13日	理事会	久留米市 マリターレ創世	理事 4名 監事 2名	令和2年度補正予算 令和3年度事業計画および予算 就業規則、育児・介護休業規程の一部改訂 臨時評議員会の招集
3月29日	評議員会	決議省略 書面	評議員 7 名	令和2年度補正予算 令和3年度事業計画および予算

### 外部研修・説明会

実施日	名称	場所	参加者数	内容
8月21日	ライフレスキュー久留 米連絡会	久留米市 総合福祉セン ター	1名	令和元年度事業報告、支援報告他
9月29日	公正採用選考人 権啓発推進員研修	久留米 総合庁舎	1名	公正な採用選考について
10月20日	企業経営者 人権啓発セミナー	久留米市 ホテルニュープラ ザ	1名	企業の社会的責任と人権意識
11月20日	久留米地区企業内同和 問題研修推進委員会研 修	久留米市 シティプラザ	1名	ネット差別を許すな
2月10日	令和2年度都道府県 経営協セミナー	オンライン研 修	1名	社会福祉法人の 事業展開と経営基盤の強化策他
2月11日	オレンジ健康フェスタ	オンライン研 修	1名	withコロナにおけるフレイル予防他

## 唐孔雀園(特養・ショート)

### ■運営

#### ・全般

利用者様の尊厳を守り、その人らしく安心して生活を送って頂けるようより良いサービスの提供に取り組んできました。安全面においては、転倒、車椅子からの転落事故が複数回見られました。見守り強化の体制の為の人員補充が課題としてあげられます。また職員の事故を予測した対応力、防止の為の知識習得、意識向上とともに利用者様が普段より

安心して穏やかに生活して頂けるような環境づくりに努めていきたいと思ひます。

衛生面においては、新型コロナウイルス感染拡大防止にもとづき、徹底した環境整備に努めました。

その結果、新型コロナウイルスはもとより、他の感染症罹患者もゼロで抑えることが出来ました。

食事については、引き続き経口維持加算の取組みを行い、より細やかな記録、安全な介護技術の統一を行いました。今後も職員への資質の向上として再指導と園内研修により事故が起きないように取り組んでいきます。

今後の課題は、個別ケアに対して職員の意識づけと知識・技術の向上、申し送りの徹底による情報を共有できる体系づくりを行っていく必要があります。

#### ■ 施設サービス計画

担当者会議は、介護保険更新・区分変更・プラン終了(概ね1年間)時期に、サービス担当者会議を経て、作成を実施致しました。

また、新規入所者は1週間以内に暫定プランを作成し、担当者会議を1か月以内に開催しプラン作成を行っています。

#### ■ リハビリ

入所者のリハビリテーションの実施

入所者の身体機能評価を行い、プログラム・目標を立案し、リハビリテーションを実施しています。

リハビリは利用者の身体状態に応じて機能訓練室またはベッドサイドを選択しています。

⇒平均施行者数:30.9/日(別紙参照)

4月	31.7	5月	31.2	6月	30.0	7月	31.5	8月	30.8	9月	29.2
10月	30.4	11月	30.5	12月	31.2	1月	31.2	2月	32.1	3月	31.3

\*山崎PT担当フォロー者:4~5名

その他:園内研修実施

#### ■ ショートの利用推進

令和2年度は、新型コロナウイルス対策及び職員不足等にて受け入れを中止していました。

今後は、新型コロナウイルス感染状況及び職員体制等を考慮しながら、利用者確保に努めていきます。

#### ■ 利用者・家族との関係作り

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により、直接ご家族との面会を制限させて頂きました。

面会解除の期間には一日の人数や、面会時間を制限した方法で面会を行っていただきました。

面会禁止期間においても、電話で話しをして頂くなどの対応をとり、リモートで面会できる環境も整えています。

また面会が出来ないことで、利用者様の気持ちにも寄り添えるような声掛け、対応を行っています。

#### ■ 入所待機者の確保

令和2年度の待機者の月別推移

4月:8名 5月:5名 6月:5名 7月:5名 8月:8名 9月:6名 10月:5名 11月:4名

12月:4名 1月:8名 2月:6名 3月:13名

入所待機者数の減少があるため、病院・居宅介護支援事業所・地域包括センター・久留米市役所等への積極的な情報提供を実施しながら、増加に努めていきます。

#### ■ 職員教育(研修)

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止により園外研修もほぼ開催されていませんでした。

新たに、リモートによる研修、動画視聴による研修が行われており、通常業務を行いつつ参加することが出来ました。ただし人手不足、新たな研修の形ということもあり、日程の調整が難しい面もありました。

また、園内研修についても3密回避の為、職員を集めての研修は開催出来ませんでした。資料の配布やアンケート式の研修を行うことで知識の習得、資質の向上を図っています。

#### ■ 各種委員会(改善点できたもの・改善中のもの)

##### ・排泄ケア委員会

R2年度は、コロナ感染予防対策の為、年2回の外部講師の研修に代え、資料配布による研修を実施しました。テーマは「感染予防対策に配慮した排泄ケア」とし、新しい排泄ケアの知識を得ることが出来ました。次年度もその知識を活かせるように取り組んでいきたいと思ひています。

また、コロナ感染予防のため、納入業者との打合わせが減少し在庫や商品見直しの調整が難しく、コストが増加しました。

衛生管理の為、予防着着用、手袋の都度交換、汚染物(紙オムツ等)適正処理の徹底がまだ不十分などところもあり、今後も都度職員指導及び勉強会を行なっていきたいと思ひています。

##### ・感染症対策委員会

R2年度は新型コロナウイルス感染症が世界規模で蔓延しており、唐孔雀園でも対応マニュアルを基に感染防止を徹底してきたことにより、感染防止の基本は職員全員に周知徹底出来ました。職員全員が各書類に目を通し、内容を把握し、日々の生活の中で役立て、R2年度は、利用者や職員から、新型コロナウイルスやインフルエンザの罹患者を1名も出すことなく無事に過ごすことが出来ました。

引き続き手洗い・マスク着用・検温・不要不急の外出を避ける行動をとり、各自が感染防止の意識を高くもって、新型コロナウイルスを含む全ての感染症に対応していきたいと思ひています。

・事故防止対策委員会

施設を利用される利用者様及び来園されるご家族様や職員等が、事故や怪我等なく安全に過ごせるよう、定例会(月1回)で広く情報収集、対策の立案等を行ってきました。R2年度の事故発生は6件あり、転倒および車椅子からの転落が全体の2/3を占めています。  
ご自分の意志で動かれている方の事故で、発生をゼロにするのは難しい取り組みとなりますが、見守りや事故を予測できるような視点をもって業務にあたる必要があります。  
引続きヒヤリハット報告書により、施設全体として安全面の強化・情報収集を行い、委員会を中心としたリスクマネジメントの体制を整備していきます。

・褥瘡対策委員会

R2年度も褥瘡予防に努めてきましたが、体位交換の指導が職員全員に行き届かなかった事や、利用者様の栄養状態の低下により褥瘡発生者が10名程見られました。  
また、同じ利用者様が何度も褥瘡の発生が見られ、今後もしハビリススタッフや医師・管理栄養士と連携し、職員全員に体位交換の指導、栄養面からのサポートを行い、予防を第一の目標として取り組んでいきます。

・身体拘束廃止委員会

R2年度は1年を通じて身体拘束ゼロを達成出来ました。以前、身体拘束を行っていた利用者様(ミトンの使用)についても代替ケアを行うことで対応しています。  
今後も様々なケアの方法を模索し、身体拘束ゼロを目指していきます。

・身体拘束適正化委員会

R2年度も6、9、12、3月に委員会を開催し、利用者様の身体状況・ケアの方法について意見交換を行いました。

また、6月、3月の研修会についてはコロナ禍のなか職員を集めての研修会開催は出来ませんでした。代替策として資料配布にて身体拘束廃止の啓蒙活動を各棟単位で行っています。

・接遇委員会

接遇マナーは、職員間で注意しあえるような環境作りを行っていましたが、一部職員が利用者様に対する言葉使いが不十分で、利用者様からの苦情がありました。引続き職員同士で注意しながら接遇マナーの向上を図っていきます。

コロナ禍で、ご家族様とコミュニケーションが取り難く、信頼関係づくりは十分とはいえません。少ない機会のなかでも信頼関係づくりに励むような職員同士で声掛けをおこなっていきます。  
職員の身だしなみは、適切な洋服で仕事を行う事が出来ました。

・入浴ケア委員会

慢性的な人員不足の中で、年間通して大きな事故もなく、目標の一つでもある安心安全な入浴介助は達成できました。プライバシーの保護についても概ね出来ていたと思います。

今後の課題は、職員の中に入浴を制限時間内で終了させないといけないというプレッシャーを感じながら業務に携わっていた人もいたのではと思います。利用者様もご自分のペースで入浴して頂き、職員もゆとりのある入浴介助が出来ればと思います。

・衛生管理委員会

R2年度は、新型コロナウイルス感染症が蔓延している中ではありましたが、安全に職員の健康確保及び職場環境の向上を図れたのではないかと思います。

ストレスチェックの実施、職員検診後の要再検者に対する受診推奨を行い、また老朽箇所の改善職員休憩室等の環境整備も行いました。

■利用者諸表(特養)(R3年3月31日現在)

入所年齢別・性別 (単位：名)

性別\期間	～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男	2	5	2	1	1	0	0	0	11	73.8歳
女	2	3	3	10	12	16	4	3	53	86.8歳
計	4	8	5	11	13	16	4	3	64	84.5歳

男性 最高 87歳 9月 最低 59歳 4月  
女性 最高 101歳 2月 最低 61歳 7月

在所期間 (単位：名)

性別\期間	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8～9年未満	9年～	計
男	5	3	1	1	0	0	0	0	1	11
女	19	7	5	2	1	2	2	4	11	53
計	24	10	6	3	1	2	2	4	12	64

ADL調査票

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	33	7	5	9
介助で出来る	7	17	21	3
全然出来ない	15	40	38	52
経管栄養	5			
胃ろう	4			



問題行動や症状の有無及び内容(重複あり)

(単位：名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	4	6%	独語	6	9%
大声・暴言	9	14%	幻視・幻聴	2	3%
暴力・介護抵抗	2	3%	物を破る	0	0%
収集癖	6	9%	帰宅願望	7	11%
異食	2	3%	物盗られ妄想	1	2%
不潔行為	2	3%	被害妄想	4	6%

要介護度状況

(単位：名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男	1	0	4	3	3	11	3.6
女	1	5	14	17	16	53	3.8
計	2	5	18	20	19	64	3.8

■行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
毎週土曜日	生花教室	毎回、生花は園内ロビー等に飾っており、利用者様やご家族に好評。
第4月曜日	誕生会	誕生カード・バラを渡し、お祝い。ご家族に誕生会の様子を手紙と写真で知らせることで、ご家族も喜ばれている。
第4月曜日	口腔ケア指導	さくら歯科訪問歯科診療の歯科衛生士より口腔ケア指導を受ける。
5月10日	母の日	利用者様に母の日のプレゼントとしてカーネーション・カードを渡す。
6月4日	防火避難訓練	角消防の指導による防火訓練が行われた。 消防署は新型コロナ感染予防のため参加せず
6月16日	父の日	利用者様に父の日のプレゼントとしてバラ・カードを渡す。
7月7日	七夕	6月より利用者様と共に七夕飾りを作り、竹を用意し玄関ロビーに飾る。利用者様には願い事を短冊に書いて頂く。
8月10日	盆供養	昨年の8月より亡くなられた利用者様の初盆の供養
9月21日	長寿のお祝い(贈呈式)	理事長より利用者様へ祝辞および記念品の贈呈
11月14日	防火避難訓練	久留米広域消防署・角消防の指導による防火訓練が行われた。
12月25日	年忘れ大会	サンタによるプレゼント贈呈。
1月1日	新年祝賀式典	園内マイクによる新年の挨拶。おせち料理の提供。
2月中旬	お雛様飾り	玄関ロビーにお雛様を飾り付ける。

※新型コロナ感染拡大防止のため、従来のように利用者様に集まって頂いたり、来賓、ご家族様に来園して頂く形での行事の開催はできませんでした。

■研修実績 (園外研修)

実施時期	研修名	内容・成果
6月23日	新型コロナ感染症対策集合研修	感染者を施設内で療養する場合の知識・対応方法
2月14日	高齢者虐待防止研修	高齢者虐待防止法における基礎研修
3月18日	福祉サービス苦情解決従事者研修	福祉サービス事業所での苦情解決の体制づくり

(国内研修)

実施時期	研修名	内容・成果
4月18日	倫理及び法令遵守について	介護職員の職業倫理について学ぶ。
4月24日 5月22日	口腔ケアについて	歯科衛生士より高齢者のための口腔ケアについて
5月9日	接遇研修①	施設職員のための接遇マナーについて
5月30日	正しいオムツ装着①	ケアルートより正しいオムツの当て方について
6月24日	食中毒の予防・まん延防止	食中毒予防について
6月17日	感染症予防・まん延防止	コロナウイルスについて
6月10日	身体拘束廃止・虐待①	身体拘束とは(フロアでの討議)
7月8日	認知症ケア	認知症ケアについて
7月11日	褥瘡のメカニズム①	褥瘡発生のメカニズムについて
8月19日	事故の発生予防及び再発防止	事故トラブルの発生について
8月28日	医療に関する教育	喀痰吸引と酸素投与
9月5日	事故の発生等の心肺蘇生について	救急処置について
9月9日	安全な入浴介助方法について	安全な入浴介助について
10月3日	プライバシーの保護の取り組み	プライバシー保護について
10月17日	接遇研修②	施設職員のための接遇マナーについて
11月11日	褥瘡の予防と管理②	褥瘡の予防法について
11月14日	正しいオムツ装着②	ケアルートより正しいオムツの当て方について
12月9日	インフルエンザ・ノロウイルス	冬の感染症とその予防対策について
1月16日	リハビリ	廃用性症候群について
2月13日	正しい食事介助方法	安全な食事介助について
2月20日	医療に関する教育	喀痰吸引について
2月20日	身体拘束廃止・虐待②	スピーチロックについて

## 唐孔雀園(デイサービス)

### ■基本方針

#### ・全般

- 1 利用者の残存能力を活かすために、毎日の健康体操、口腔体操、レクリエーション等で身体機能の維持・向上を図り、在宅生活が継続できるように支援しました。
- 2 利用者とは平日頃からコミュニケーションを積極的に行い、心身状態の把握に努め、安全で質の高いサービスの提供を実施しました。
- 3 新型コロナウイルス感染防止のため、地域の各関係機関の会議、講演等が中止となり、情宣活動に十分にできませんでした。

#### ・重点項目

- 1 利用者の、身体能力に対応した運動等を実施し、残存能力の維持向上に努めました。
- 2 利用者の、心身の状況に対応したサービスを提供し、精神的負担の軽減に努めました。
- 3 利用者の、意欲や感動を引き出すために、趣味、レクリエーション等を活用しました。
- 4 利用者担当のケアマネジャーと緊密な連携と情報の共有化を図り、有効なサービスを提供しました。
- 5 利用者ご家族とのコミュニケーションを図り、ご家族の身体的・精神的な負担軽減に努めました。
- 6 資質向上のための外部研修が、新型コロナウイルス感染防止のため中止が相次ぎ、職員間での内部研修を充実させ情報等の共有化を図りました。

■業務体制

- 介護報酬改定に伴う地域包括ケアの推進、自立支援・重度化防止、介護サービスの適正化等に沿った人員配置・役割分担等効果的な業務体制を整えました。
- 令和2年度 登録利用者数 34名 (令和元年度末 登録利用者数 29名)  
利用者数 33名 (要支援者数 14名 要介護者数 19名)  
利用者延人数 3,433名 (令和元年度 利用者延人数 3,234名)
- 新型コロナウイルス感染防止のため、毎月定例行事の中止等や地域の諸行事の中止が多く、地域福祉の拠点としての情報発信が少なかった。

■令和2年度年間利用者数計画・実績表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 平均
2年	延人数	286	286	299	310	299	312	324	313	338	312	312	353	3,744
	計画 1日平均	11.0	11.0	11.5	11.5	11.5	12.0	12.0	12.5	12.5	12.5	13.0	13.0	12.0
2年	延人数	252	259	297	312	304	300	307	302	344	290	304	162	3,433
	実績 1日平均	9.7	10.0	11.4	11.6	11.7	12.0	11.4	12.1	12.7	12.6	13.2	12.5	11.6

※令和3年3月に新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により3/16～3月末営業休止

■主な行事実績

実施時期	行事名	内容・成果
4月	お花見	さくら見学 竜王寺公園 (16名参加)
5月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦 (8名参加)
6月	お花見	紫陽花見学(8名参加)
7月	そうめん流し	竹を使ったそうめん流し (延31名参加)
8月	夏祭り	屋台を作り、ゲーム、かき氷等でお祭り気分を味わう (延30名参加)
9月	敬老会	職員による演芸等で敬老の日を祝う (25名参加)
10月	運動会	利用者様と職員合同で紅白に分かれての運動会 (16名参加)
11月	茶話会	クイズ形式によるグループ対抗戦 (13名参加)
12月	年末お楽しみ会	クリスマス会と一緒に実施、カラオケ、ケーキ作り (延19名参加)
1月	初詣	成田山、高良山、日吉神社 (延20名参加)
2月	節分	豆まき (延26名参加)、梅花見学 (延20名参加)
3月	お花見	さくら見学 内野さくら公園 (コロナウイルスの為施設から見学)

毎月実施

・誕生会、健康体操、創作教室、書道教室等を実施。

桜花台園(特養・ショート)

■運営

【特養】

- 入所検討委員会を年4回(4・9・12・3月、うち2回は臨時)開催し、待機者は20名(前年比同数)でした。待機者減少の中、円滑に利用者の入所を行うため回数を増やし年4回としました。
- 今年度退所者は5名(前年度比-1)、入院者4名(前年比同数) 今後は、介護中の事故の発生防止、感染及びケアの研修を実施し、職員に周知させていきたいと思ひます。
- 経管栄養(胃ろう)のご利用者は現在1名です。
- 家族会を年1回開催していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の為中止しています。
- 広報誌は従来年2回発行していましたが、面会中止期間中のご利用者の様子をお伝えするために今年度は3回発行し、ご家族のご心配を和らげる努力をしました。
- 特養の申し込みや施設見学  
特養の申込者や施設見学者は写真で施設を説明し、希望する申込者においては、自宅に訪問し申し込みの手続きなどを実施し、施設の稼働が維持するため取り組むことができました。  
又、コロナ禍で施設内の見学ができない時期はタブレットを使用した施設案内を実施しています。
- 特養の年間延べ日数は7,090日と前年比-24日でした。

■ケア

【特養】

- ① 全体ミーティングを年2回実施し、虐待を予防するために家族の希望や利用者の生活状況の把握などを中心に会議を行い、ケアの見直し、適切な支援についての検討をしました。  
又、毎日16時前後に10分程度のミニミーティングを開催することで情報の共有及び課題を提示し解決に向けた意見交換を行うことができました。
- ② ユニットリーダー研修は今年度も参加することができませんでした。
- ③ 居室の担当者が月1回の清掃チェックを行い居室の環境整備に努めました。
- ④ 個々の利用者の咀嚼・嚥下の状態に応じて各職種連携し経口維持加算の算定をおこないました。  
また、ケアプランに反映し24時間シートと連動することで毎食の評価へと繋げて経口維持加算の算定に努めることができました。
- ⑤ 脳トレは、新たにことわざも追加した学習療法を中心に継続して取り組んでいます。
- ⑥ 個別機能訓練対象者の10名の方を週60回程度訓練を実施し、前年度より機能訓練回数が増加しました。  
ため、充実した機能訓練を提供することができました。
- ⑦ 新人教育は、感染予防(コロナ関連も含む)については看護から指導を実施し、業務やケアについては日々の業務マニュアルをその都度追加・変更した上で新人・派遣職員へ業務やケアの指導を行い新人職員や派遣職員もスムーズに業務ができるように努めました。
- ⑧ 入院中の利用者の状況把握のため、医療機関との情報交換を密に行うことで、現場スタッフへも直近の利用者の状態を報告し、事前にケアを予測・検討することができました。
- ⑨ 今年度は、3人の看取りを行い、2人看取り加算を算定しました。スタッフに負担はありましたが、看取り指針に沿って、ご家族・ご利用者の心身の負担緩和に努め、各職種連携し実施することができました。
- ⑩ 入所者の心身状態に応じて、転倒リスク防止の為手すりの設置、センサーマット、センサーチェアの使用しました。
- ⑪ ケアプランの項目を実施しているかどうか確認する書式の漏れがみられたので、分かりやすく、簡素化し確実に記録できるように様式を変更して取り組みました。

【ショート】

- ① 徘徊や昼夜の帰宅願望の認知症状を抱えるご利用者が増えていく中、ご家族と連絡・協力体制を取りながら、夜勤者・ケアマネが連携し、状態に応じた対応を行い、利用者が安心して宿泊できる環境を提供できました。
- ② 連絡ノートや業務マニュアルを見直し、利用者の体調や状態など情報の共有を図りケアをすることができました。全体ミーティングも再開し、ご利用者様のケア内容について業務改善点等について話し合う機会を設けました。
- ③ 特養同様に、見学者や新規希望者においては、写真や図を活用して施設の説明を行い、新規利用者を受け入れるために取り組むことができました。
- ④ リハビリは、生活する中での生活リハに加えて、1階での平行棒や手すりを使った個別機能訓練を実施した。脳トレではことわざを実施する機会が増えて学習に取り組む機会が増えました。  
毎日の健康体操や口腔体操は継続することができています。
- ⑤ 体調変化のサインを見逃さず、看護・介護・ケアマネと連携し、医療機関への受診を家族に依頼または受診介助し早期対応を心掛けました。
- ⑥ 特に新規ご利用者に関しては事故リスクや不穏症状が出現する事が高いので個別での見守り対応し和室への変更やセンサーマット、センサーチェアなどの活用し事故防止に取り組んできました。
- ⑦ 新型コロナウイルスの感染予防のため、園外行事を中止し行事は減少しています。  
年6回実施していた、バイキングも開催することが出来ませんでした。
- ⑧ 令和2年度は月の稼働率が90%を下回る月が8か月ありました。  
年間実績は延べ利用日数3,159日(前年比-124)、利用者数203名(前年比-65名)で減少となりました。  
年間の延べ日数はさほど変わらず、利用者数の減少に関してはロングステイご利用者が6名でしたが令和2年度は1名増え7名の月が多かった事が上げられます。
- ⑨ 日頃から感染対策や体調管理を行うことで、インフルエンザやノロウィルスの発生はありませんでした。
- ⑩ 広報誌を年間 3回発送し、前年より多く発送することができたため、ご家族も園での状況を把握していただくことができました。

■利用者諸表(特養)

入所年齢別・性別

(単位:20名)

性別\期間	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	計	平均年齢
男					1				1	87.0歳
女		1		6	6	5		1	19	87.1歳
計		1		6	7	5		1	20	87.1歳

男性 最高 87歳 最低 87歳  
女性 最高 102歳 最低 70歳

在所期間

(単位:名)

性別\期間	1年未満	2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～5年未満	5～6年未満	6～7年未満	7～8年未満	8年以上	計
男							1			1
女	2	6	1	3	1	1	1	2	2	19
計	2	6	1	3	1	1	2	2	2	20

ADL調査表 (単位:20名)

区分	食事	着衣	入浴	歩行
自分で出来る	9	2	0	1
介助で出来る	4	12	11	4
全然出来ない	6	6	9	15
経管栄養	0			
胃ろう	1			

問題行動や症状の有無及び内容(重複あり) (単位:名)

問題行動	人	率(%)	問題行動	人	率(%)
徘徊(ウロウロ・落ち着きない)	3	15.0%	独語	3	15.0%
大声・暴言	5	25.0%			
暴力・介護抵抗	6	30.0%			
収集癖	1	5.0%			
異食	2	10.0%			
不潔行為	3	15.0%			

要介護度状況 (単位:名)

介護度	I	II	III	IV	V	合計	平均介護度
男				1		1	4.0
女			4	10	5	19	4.1
計			4	11	5	20	4.1

\*R3年3月末現在の数値で利用介護度とは相違

## 小規模

## ■運営

- 令和2年度4月は登録20名でスタートし、その後は18名～20名を維持し3月末は19名で終わりました。
- 1年間の実人数は232人と前年比-24名と減少しています。
- 1年間の平均介護度は前年度2.6、令和2年度2.3と低くなっています。
- 延べ利用者は6,585名(前年比-172)、内訳 訪問1,050(+206)、通所3,994(-251)、宿泊11,369(-127)
- 新規の依頼、相談は南包括支援センター、居宅事業所からの変更相談、医療機関からの相談依頼やご家族及びご利用者からの紹介もありました。  
新型コロナウイルスの影響からか新規の相談件数自体が昨年度と比べ減少しています。
- 全体ミーティングよりも毎日のミニミーティングを小まめに行い、情報の伝達、ケア内容の統一、課題整理、解決を行ってきました。連絡ノート、書面だけではなかなか伝わらない事をその場で話し合える環境づくりに取り組みました。

## ■ケア

## 【医療】

- R2年度は看取りとなる対象の方はいませんでした。
- ロングステイのご利用者は医療連携が迅速に対応いただけるつむら診療所の津村Drへ主治医を依頼し看護師を中心に主治医、薬剤師と連携し、体調に応じて往診を依頼し体調管理に努めました。

## 【訪問】

- 訪問に関しては昨年度より登録人数は減少していますが訪問回数だけは増加しています。小規模は独居や高齢者世帯の依頼が多く、ご登録者のそれぞれのニーズに応じて訪問対応しています。特に通いのサービスがない日の安否確認、服薬介助や独居の方の買い物支援を数多く提供してきました。また、訪問看護事業所や医療機関との連携も重要で、状況に応じて報告、往診相談、訪問内容の変更を行ってきました。

## 【リハビリ】

- 専門職(PT・OT)が在籍していないため、令和2年度も介護職が生活リハや体操、リハビリバイク等のリハ機材を利用しADLの維持に努めました。
- 高齢者向きの健康、リハビリ体操を1日2回と研修で学んだシナプソロジーを行い、身体と頭の活性化に働きかけました。
- 全体の体操としてタオル、リハビリ体操を実施してきました。足元気体操やごぼう先生の毎日10分の健康椅子体操などを取り入れ下肢の筋力の維持に努めてきました。

## 【家族会】

- 令和2年度は新型コロナウイルスの感染予防の為開催は中止しています。

## 【行事】

- 年間を通して外出行事は殆ど中止になり、特に買い物等の密になる行事は行う事が出来ませんでした。石橋文化センターへの花見を秋に実施するのみとなり、園内での行事に切り替え実施してきました。
- 2か月に1回のバイキングも年間を通して中止しています。

## 【共通事項】

- 事故対策としてヒヤリハットの活用の幅を広げる事により事故リスクの認識を一人、ひとりが意識し情報を共有できるように努めました。また、事故後の2週間を目途に評価を実施しています。
- 新型コロナウイルス感染予防の為、今年度はミーティングや園内研修の回数が減少しました。外部研修の参加も意識的に取りやめています。その中でも排泄ケアと虐待研修において外部講師(排泄:ケアルートサービス 虐待研修:久留米市役所)を招き職員へより深い知識習得を行いました

■看護

- 1 入居者、ご利用者の些細な変化を早めに把握・報告し、囑託医や主治医の指示により早期受診や点滴等施設で可能な医療の提供により、重症化・重篤化の回避を目指しました。
- 2 新型コロナウイルス感染症については、施設内の感染対策を強化した結果、発生しませんでした。

①他院受診状況

内科11回(7名)、整形外科7回(1名)、フットケア2回(2名)、眼科往診8回(2名)  
耳鼻咽喉科4回(1名)、皮膚科6回(5名)、泌尿器科1回(1名)、脳血管内科1回(1名)  
入居者の状態により定期的に専門医のフォローが必要なご利用者様が増加しています。

②囑託医等の往診49回、回診33回

③はくあいクリニック胸写：入所時3名、肺炎疑い等5名

④入院4名 延べ57日(特養のみ)

⑤救急搬送 特養4名、ショート1名

内訳は店頭による頭部外傷、虫垂炎等

2 夜間医師指示受け及び看護師対応状況

特養	救急搬送	0
	医師への報告	4
	看護師の対応	5
ショート	救急搬送	1
	医師への報告	1
	看護師の対応	4
小規模	救急搬送	0
	医師への報告	0
	看護師の対応	0

医師や看護師に対する電話連絡がさらに減少、夜間帯の救急搬送は短の頭部外傷の1件だけでした。

3 感染対策

毎月、感染環境委員会を開催し、感染症・食中毒の予防、蔓延防止に努めた。

4月	5月	6月	7月	8月	9月
スタンダード プリコーション	手指消毒・環境整備 新型コロナウイルス対策	熱中症	食中毒	疥癬	結核
10月	11月	12月	1月	2月	3月
インフルエンザ	ノロウイルス (ラウンド)	誤嚥性肺炎	レジオネラ症	腸管出血性 大腸菌感染症	安全な職場環境

新型コロナウイルス感染予防対策

- ・職員のマスク着用、手洗い・手指消毒の徹底体調チェックリストによる検温等実施、37.5℃以上の出勤停止、遠方外出時事前届出(帰省時の抗原検査実施)、アルコール清掃
- ・面会原則禁止、業者施設内立入禁止、ゾーニングの設定、パーテーション設置、テーブル配置の工夫

4 褥瘡対策

介護職員向けに6月18日、12月17日に褥瘡対策勉強会を実施

今年度褥瘡形成者6名

5 看取り

特養入所時に入居者、ご家族に看取りケアについて説明

・5/21介護職員向けに「看取り介護の指針」の勉強会、11/3、11/11、12/21、12/24に看取り学習会実施

特養退所者 5名 うち死亡による退所3名(うち看取り介護加算2名)

6 喀痰吸引について

認定を受けた特養介護職員向けに痰の吸引手技確認、心肺蘇生訓練を年2回実施  
(吸引該当者がいない為、2回のみ実施で終了する)

7 緊急時対応

窒息時の対応訓練を各事業所で延べ3回ラウンドにより実施。

夜間緊急時の対応 年1回実施(4月19日)

送迎、訪問時等 異常発見時の対応 年1回実施(5月21日)

8 新入職員研修

感染対策 11日間、延べ17名実施

夜間緊急時の対応(5名)・・・当直する職員のみ実施

(5/24、7/3、10/14、11/28、1/5)

■行事实績(施設全体)

実施時期	行事名	内容・成果
5月19日	小規模:おやつづくり	園内で軽食づくり、試食
6月12日	芋ほり	桜花台園の畑で芋を利用者様と一緒に収穫
6月21日	小規模:おやつづくり	ファミリーアイスの試食
7月11日	小規模:おやつづくり	芋もちづくり
7月14日	ショート:おやつづくり	フルーツポンチづくり
9月19日	小規模:おやつづくり	おはぎづくり

9月21日	敬老会	全体の式典はなく各事業所にて実施
10月14～16	小規模:外出行事	文化センターでの散策
10月16日	特養:外出行事	文化センターでの散策
10月31日	全体:試食	桜花台園で収穫したお芋を使い試食
11月5日	特養:出前	どんどん亭に出前注文
11月16日	レントゲン	特養入所者のレントゲン撮影
11月20日	ショート:おやつづくり	カボチャを使用した軽食づくり
11月26日	小規模:おやつづくり	お芋を使用した軽食づくり
12月12日	特養:クリスマス会	ケーキ試食、プレゼント贈呈
12月21日	特養:ショート、小規模	軽食、プレゼント贈呈
1月1日	新年会	ソーシャルディスタンス新年会
1月20日	小規模:おやつづくり	おはぎの試食
2月13日	ショート:福笑い	季節行事

定例行事

実施回数	行事名	内容・成果
5回	散髪	訪問散髪

新型コロナウイルス感染症予防のため、ハイキング、音楽リハビリ開催無

■研修実績(外部)

実施時期	研修名	内容・成果
1月15日	介護の質の向上に向けた業務改善セミナー	グループワーク リモートワーク

(内部)

実施時期	研修名	内容・成果
7月7日	虐待、身体拘束廃止	虐待防止、身体拘束について
10月28日	排泄ケアについて	適切なパットの選択、当て方 講師:ケアルートサービスより
10月28日	尿路感染症について	尿路感染症とは 講師:ケアルートサービスより
11月27日	虐待研修	虐待予防について 講師:久留米市役所
2月12、19日	虐待予防研修	久留米市が作成している虐待予防についての動画を視聴

■地域交流

実施時期	行事名	内容・成果
11月11日	南校区事業所の意見交換会	事業所間での見守りネットワークの構築、青峰校区パンフレット作成について

唐孔雀園、桜花台園(栄養・地域配食)

■運営

・年間栄養課目標

- ①栄養ケア計画書を中心とし、入所者の身体状況を把握し、特徴・問題点を捉えた日々のケア・アセスメントを通して、個々の状態にあった食形態を提供する。
- ②常に専門知識と技術の向上に努め、多職種と連携を図り質の高い食事サービスを提供する。
- ③桜花台園、小規模多機能・ショートステイのハイキングの実施(隔月)。

結果

- ①唐孔雀園は毎週水曜日、桜花台園は1回/月に栄養カンファレンス(メンバー:施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・総務、委託栄養士・管理栄養士)を実施し、常に利用者様の状態にあった食事を提供できるように、摂取量・水分量・体重変動・皮膚状態嚥下状態・検査値に基づいて対応しました。また、施設課との連携を密にして日々の体調変化にも迅速に対応しました。継続して経口維持ラウンド、会議に取り組みました。(メンバー:医師・施設長・施設課長・看護主任・ケアマネ・PT・各ユニット代表・管理栄養士)経口摂取に問題のある方、誤飲誤嚥のあるリスクの高い方

に対し、唐孔雀園では第1、第3木曜日の11時からラウンド、会議を行いました。  
桜花台園では第2火曜日の11時からラウンド、15時から会議を行い、安心、安全に経口摂取し頂けるよう多職種で意見を出し合い対応しました。

②桜花台園、小規模多機能・ショートステイのバイキングについては、コロナ感染対策により全て中止。

③給食会議はコロナ感染対策により、各施設リーダー会議の中で報告実施しました。

・配食サービスの目標

令和2年度実績は2,118食でした。

・地域支援プロジェクトの目標

地域との交流・貢献と法人PRを兼ねて、今年度も料理教室を開催予定でしたが、コロナ感染予防のため中止しました。

①「防災の日」について

今年度は、炊き出し訓練を行わず、ご利用者様に防災の日の意識付けを兼ねて、ランチョンマットを作成し、ディスプレイにて食事の提供を行いました。

■衛生管理

個人の衛生管理、食品の取り扱い衛生管理等はマニュアルに沿って実施しました。

■行事实績

実施時期	行事名	内容・成果
5月5日	子供の日	鯉のぼり ねりきりを提供
7月7日	七夕膳	七夕そうめん・七夕ゼリー等提供
8月14日	精進風料理	お盆入りのため、精進風料理(そうめん・和え物)を提供
9月1日	防災の日 非常食	防災のランチョンマットを作成。献立はおにぎり・漬物・豚汁・鯛蒲焼缶・ヨーグルト・バナナ・ビスコ
9月18日	敬老膳	ランチョンマット作成。押し寿司、信田巻、筑前煮、紅白なます、果物、茶碗蒸し、お吸い物、まんじゅう
10月31日	ハロウィン	南瓜のコンソメスープ
12月24日	クリスマス膳	パエリア、ミートローフ・コロッケ盛り合わせ、イタリアンサラダ、クリスマス手作りケーキ、オニオンスープ
1月1日	おせち	昼・夕おせちを提供
2月14日	バレンタインデー	チョコプリンを提供
3月3日	ひな祭り	散らし寿司、めびなまんじゅうを提供

■研修会

実施時期	研修名	内容・成果
3月17、27日	令和3年度介護報酬改定説明	オンライン 介護報酬改定内容説明